

事業番号	09 02 01	事業改善シート (26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業大学校費			担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	信州の木活用課		
	施策の総合的展開	1 - 4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり		E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp		
		1 林業再生の実現		実施期間	S54 ~		

1 事業の概要

目指す姿	林業の専門的知識・技術を身につけ、農山村地域にあつて指導的な役割を果たす林業技術者、林業後継者及び機械化林業の現場で即戦力となる有能な人材を養成する。 目標:平成32年度 林業就労者数 3,000人 林業技術者等の育成者数 20人/年
------	---

現状 (予算編成時)	○卒業生20人のうち、15人が林業関連の仕事に就き、3人が森林関係の大学等へ進学するなど知識と技術は高く評価されている。また、就職者の15人うち12人(80%)が県内で就職している。 現状:林業技術者等の育成者数(入学者数) 20人(H24年度)
------------	--

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施: 実施中	長野県林業大学校条例 公的な森林・林業教育に対するニーズが依然として存在する。

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)				
	○林業技術者等の人材育成 20名(入学定員)				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H26事業実績	H26 (当初)	H26 (決算)
林業大学校の運営	直接	高校卒業程度の学生を対象として、一般教育科目(30単位)および専門科目(95.5単位)のカリキュラムにより専門的な知識・技術を体系的に修得させる。 ・総定員40人 (1学年の入学定員20人)	29,489	27,224	31,288
林業大学校教育環境整備	直接	実習棟を改築し、多目的スペースを新設すると共に、女子学生の生活環境を改善するため、女子寮の機能を新設する。	205,711	197,169	
合計			235,200	224,393	31,288

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	30,808	29,367	235,200	31,288
	補正予算			-8,219	
	合計(A)	30,808	29,367	226,981	31,288
	一般財源	25,984	24,537	24,915	24,645
	県債				
	国庫支出金				
	その他	4,824	4,830	202,066	6,643
	決算額(B)	25,984	24,537	224,393	
概算職員数(人)	8.20	8.20	8.20	8.20	
概算人件費	67,716	67,716	67,716	67,716	
概算事業費(B(A)+C)	93,700	92,253	292,109	99,004	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
林業技術者の育成者数(入学定員)	20人/年	20人/年	20人/年	達成	20人/年

目標に対する成果の状況	林業技術者の育成20人(卒業生数)
-------------	-------------------

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・林業就業者数が減少している中で、持続可能な林業生産活動のためには専門的な知識・技術を身に付けた林業後継者、林業指導者を引き続き育成し世代継承を円滑に進める必要がある。
--------------------	---